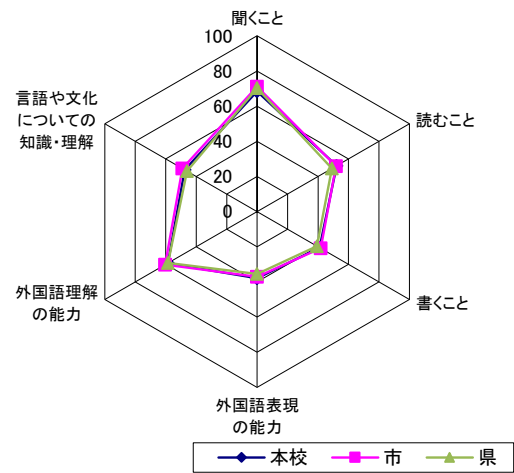


宇都宮市立 宝木 中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	68.4	71.1	70.2
	読むこと	52.2	51.8	49.1
	書くこと	41.0	41.8	39.4
観点	外国語表現の能力	37.9	37.1	35.5
	外国語理解の能力	58.6	60.4	58.5
	言語や文化についての知識・理解	47.5	49.0	46.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	●「聞くこと」における正答率は、県より1.8ポイント、市より2.7ポイント低い。 ○単文の聞き取り、まとまりのある英語の聞き取りについて、県及び市の正答率より高い。(2.8/0.9, 3.9/1.7) ●疑問文の聞き取り、絵に関する英文の聞き取りについて、県及び市の正答率より低い。(−4.7/−5.0, −9.8/−8.7)	・授業における英語での「やり取り」を充実させ、大切な部分に注意して聞く、聞いたことに適切に反応することができるようにする。 ・疑問文と、それに対する答えを一致させることに課題がある。質問と答えの組み合わせを意識できる練習を繰り返し行い、「やりとり」の中に積極的に組み込む。 ・聞き取った情報を整理して思考することに課題がある。与える情報の量を、理解の状況を観察しながら加減し、徐々に増やしていくことができるよう、時間をかけて取り組む。
読むこと	○「読むこと」における正答率は、県より3.1ポイント、市より0.4ポイント高い。 ●文法の理解について、県の正答率より0.2ポイント高いが、市の正答率より2.9ポイント低い。 ○英語の案内などの読み取り、まとまりのある英語の読み取りについて、県及び市の正答率より高い。(7.7/3.8, 8.0/7.4) ●長文の読み取りについて、県及び市の正答率より低い。(−1.5/−4.1)	・時制や前置詞などを適切に扱う技能、会話の流れを読み、適語を選ぶことなどに課題があるので、読み進める過程において、上記を表す部分に注目し、下線を引かせる活動などを取り入れる。 ・まとまった文章や長い文章を苦手とする傾向が強く、単文や短い会話文ではおおむね理解が及んでいることから、積極的に読む態度を養うため、内容について伝える、内容について他者の意見を聞くなどの目的を持たせ、読む活動に取り組ませる。
書くこと	●「書くこと」における正答率は、県より1.6ポイント高く、市より0.8ポイント低い。 ○語順の理解について、県及び市の正答率より高い。(3.1/0.3) ○テーマに基づく英作文について、県及び市の正答率より高い。(2.8/3.0) ●場面や条件に応じた英作文について、県の正答率より0.4ポイント高いが、市の正答率より1.7ポイント低い。	・「やりとり」を充実させていくことから、その内容を文字に表す活動を加えて、書く機会の増加を図る。 ・書く活動では、場面や条件・話題を豊富に設定・提供し、生徒一人一人が、創造力を高めながら取り組むことができるよう、指導・支援する。